

リフェンダジクロフェナクゲル

リフェンダ ジクロフェナクゲル

経皮鎮痛消炎剤

第2類医薬品

リフェンダ 50g ジクロフェナクゲル

腰痛・肩こりに伴う 肩の痛み 関節痛・筋肉痛

にジクロフェナクナトリウムが浸透、痛みのもとに効く。

ℓ-メントール配合 心地よい清涼感

ジクロフェナクナトリウム配合



第2類医薬品

【成分・分量】1g中

ジクロフェナクナトリウム…10mg
ℓ-メントール…30mg
添加物：エタノール、プロピレングリコール、アジピン酸ジイソプロピル、グリセリン、ヒドロキシプロピルセルロース、疎水化ヒドロキシプロピルメチルセルロース、ピロ亜硫酸ナトリウム、乳酸

【保管及び取扱い上の注意】

- (1)直射日光の当たらない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)火気に近づけないでください。
- (4)メガネ、時計、アクセサリー等の金属類、化粧品の衣類、プラスチック類、床や家具などの塗装面等に付着すると変質することがありますので、付着しないよう注意してください。
- (5)他の容器に入れかえないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります)
- (6)使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。なお、使用期限内であっても、開封後はなるべく速やかに使用してください。

製造販売元
株式会社 タカミツ
名古屋市中区上飯田東町4の68の1

本剤についてのお問い合わせは、下記にお願いします。
株式会社 タカミツ
☎ 0120-459533
受付時間
(月～金曜日 9:00～17:00 土日を除く)

副作用被害救済制度
☎ 0120(149)931



製造番号 使用期限

【効能・効果】

腰痛、肩こりに伴う肩の痛み、関節痛、筋肉痛、腱鞘炎(手・手指の痛み)、肘の痛み(テニス肘など)、打撲、捻挫

【用法・用量】

- 1日3～4回適量を患部に塗擦してください。ただし、塗擦部位をラップフィルムなどの通気性の悪いもので覆わないでください。なお、本成分を含む他の外用剤を併用しないでください。
- 15歳未満の小児は使用しないでください。

【用法・用量に関連する注意】

- (1)定められた用法・用量をお守りください。
- (2)本剤は、痛みやはれ等の原因になっている病気を治療するのではなく、痛みやはれ等の症状のみを治療する薬剤ですので、症状がある場合だけ使用してください。
- (3)本剤は外用にのみ使用し、内服しないでください。
- (4)1週間あたり50gを超えて使用しないでください。
- (5)目に入らないように注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水またはぬるま湯で洗ってください。なお、症状が重い場合には、眼科医の診察を受けてください。
- (6)使用部位に他の外用剤を併用しないでください。
- (7)通気性の悪いもの(ラップフィルム、矯正ベルト等)で使用部位を覆い、密封状態にしないでください。
- (8)使用後は手を洗ってください。



開け口

この説明文書は、ご使用前に必ずお読みください。また、必要な時に読めるように保管してください。

△ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと

- (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)
1. 次の人は使用しないでください
 - (1) 本剤または本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - (2) ぜんそくを起こしたことがある人。
 - (3) 妊婦または妊娠していると思われる人。
 - (4) 15歳未満の小児。
 2. 次の部位には使用しないでください
 - (1) 目の周囲、粘膜等。
 - (2) 皮ふの弱い部位(顔、頭、わきの下等)。
 - (3) 湿疹、かぶれ、傷口。
 - (4) みずむし・たむし等または化膿している患部。
 3. 本剤を使用している間は、他の外用鎮痛消炎剤を併用しないでください。
 4. 長期連用しないでください

⊗ 相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師または登録販売者に相談してください。
 - (1) 医師の治療を受けている人。
 - (2) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - (3) 次の医薬品の投与を受けている人。ニューキノロン系抗菌剤
2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談してください。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、かぶれ、はれ、痛み、刺激感、熱感、皮ふのあれ、剥膜(フケ、アカのような皮ふのはがれ)、水疱、色素沈着

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診察を受けてください。

症状の名称	症状
ショック(アナフィラキシー)	使用後すぐに、皮ふのかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれます。
接触皮膚炎、光線過敏症	塗擦部に強いかゆみを伴う発疹・発赤、はれ、刺激感、水疱・ただれ等の激しい皮膚炎症状や色素沈着、白斑があらわれ、中には発疹・発赤、かゆみ等の症状が全身に広がる場合があります。また、日光が当たった部位に症状があらわれたり、悪化することがあります。

3. 5～6日間使用しても症状がよくならない場合は使用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談してください。

1501-AHI